

クライアント型メール誤送信防止ソリューション

m-FILTER®

MailAdviser

導入らくらく & かんたん操作。
いますぐできる、誤送信対策。



動作環境 ※ 動作検証済みメーラーは Outlook のみ 32/64bit 版、他メーラーは 32bit 版のみ

対応 OS	動作検証済みメーラー (※)	LDAP サーバー要件	
Windows 10/8.1/7	Microsoft Outlook 2016	Becky! Internet Mail Ver.2	Active Directory, OpenLDAP に対応
Windows Server 2012 R2	Microsoft Outlook 2013	Mozilla Thunderbird Ver.38	
Windows Server 2012	Microsoft Outlook 2010	Windows Mail Ver.6	
Windows Server 2008 R2 SP1	Microsoft Outlook 2007 SP3		

オプション m-FILTER MailAdviser FC Adapter

「m-FILTER MailAdviser FC Adapter」は、Outlook 環境で添付ファイルを「FinalCode」を使って自動暗号化する機能です。受信者への専用「FinalCode Client」導入と、別途「FinalCode」が必要になります。詳細についてはお問い合わせください。

デジタルアーツ株式会社

www.daj.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェスタワー14F
Tel 03-5220-1110 Fax 03-5220-1130

製品に関するお問い合わせ

Tel 03-5220-3090 【受付時間】平日9:00~18:00 (土、日、祝日、弊社指定休業日を除く)

E-Mail sales-info@daj.co.jp URL www.daj.jp/bs/

■本資料は、2017年2月現在の情報を基に作成されています。最新の情報は弊社 Web サイトをご参照ください。■デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、m-FILTER はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。■FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。■「m-FILTER」はデジタルアーツ株式会社の著作物であり、「m-FILTER」にかかる著作権、その他の権利はデジタルアーツ株式会社および各著作権者に帰属します。■「FinalCode」は FinalCode, Inc. の著作物であり、「FinalCode」にかかる著作権、その他の権利は FinalCode, Inc. および各著作権者に帰属します。■その他、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。■本資料に掲載されている画面及び画面設定例は、解説のためのイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合がございます。■本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。

お問い合わせ先

“気付き”を与え、添付ファイルも自動暗号化。今すぐできる、かんたん誤送信防止。

「m-FILTER MailAdviser」は、メール送信者にもその場で“気付き”を与え、誤送信を防止するクライアント型ソフトウェアです。

「うっかり誤送信」を、見やすい画面で、簡単に、確実にチェック!!

誤送信の見落としを排除するための多彩な機能を見やすく、わかりやすく表示したポップアップ画面。ポップアップ画面が開いた瞬間に問題の有無をひと目で把握でき、指差し確認するようにマウス操作で確認項目をチェックできます。

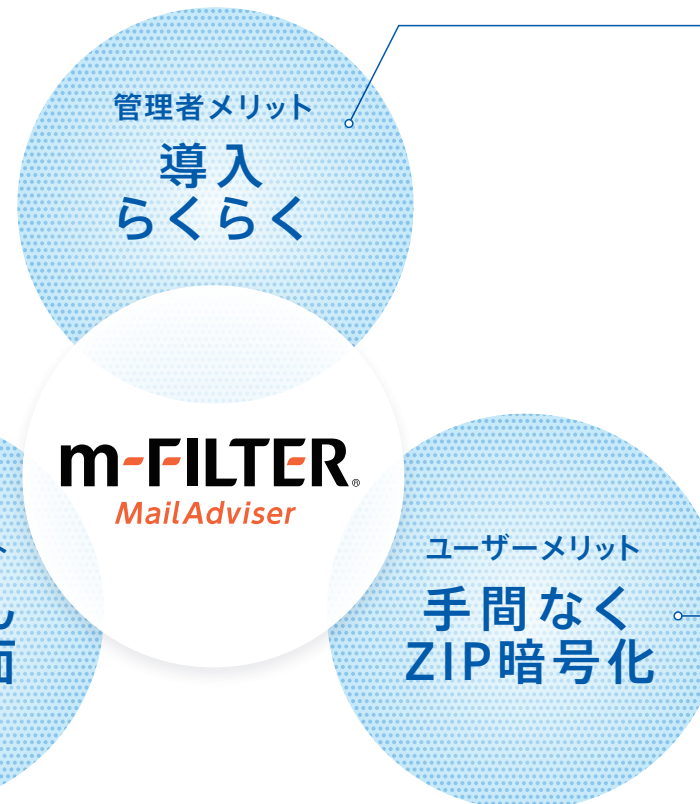
「確認!」「送信!」の、わずか2ステップで誤送信を防ぐ!!

メール送信者がメール送信ボタンを押した直後にポップアップ画面が起動し、宛先や本文、添付ファイル内容などに間違いがないかのチェック作業をメール送信者に促します。メール送信前に「うっかり誤送信」リスクの“気付き”を与えることで、従業員の誤送信防止意識向上にも役立ちます。



PCインストールで利用開始!!

導入は従業員のパソコンにインストールするだけ。パソコン単体で動作するため、既存のネットワークやシステムの設定・変更は必要ありません。また、管理者ツールを利用すれば、誤送信防止ルールを部門ごと一括で作成・変更でき、管理者の導入や管理作業が格段にラクになります。



問題箇所は赤で表示するためチェックポイントが一目瞭然

宛先、本文、添付ファイル、それぞれの問題箇所数を表示

誤送信のリスクをまとめて表示
設定値を超える数のアドレスが指定された場合に警告などを表示

各ドメインの行頭に「社外」「携帯」「社内」の順に表示区分
※その他、「社外」「部署外」「部署内」の表示区分も可能

宛先アドレス自体をクリックして確認

カーソルを合わせると確認内容を具体的に指摘

送信先を瞬時に把握可能
自動的に各ユーザーの組織情報を取得し、宛先間違いを発見しやすいようドメインを組織情報に変換して表示

未確認項目があれば送信不可
「宛先」「本文」「添付ファイル」全てタブの確認をするまでメールは送信不可

添付ファイル自動ZIP暗号化

ポップアップ画面で宛先・本文・添付ファイルを確認してから、添付ファイルをパスワード付きZIPファイルに変換し、さらにパスワード通知メールも自動で新規生成し送信するため、安全かつ効率的なメール運用が実現できます。
※Outlookのみ対応 ※AES-256方式にも対応



宛先アドレス組合せ確認機能

送信者が送るメールの宛先アドレスの組合せパターンを記憶。送信時にその履歴と一致した場合、ポップアップ画面でのチェックを不要にします。チェック慣れ防止にも役立ちます。

特許
出願中

LDAP連携により、組織に応じた運用がさらに使いやすく!

システム管理者としては…	「m-FILTER MailAdviser」なら
宛先が社内・グループ会社の場合、宛先である受信者の所属部署を必ず確認させたい	メール送信時、ポップアップ画面の宛先メールアドレスに組織名も表示可能*
メール送信時、送信者の上長をCC:指定させたい	上長をCC:指定しない場合、警告表示可能
組織変更における管理の手間が増えそうで不安	「m-FILTER MailAdviser」での組織名情報や上長情報の二重管理は不要!

* 組織名表示はお客環境のLDAPサーバー設定に従います